

無料オステオパシーセミナーを開講して

SAJ 卒業生一同を代表して

この度、我々は初めての企画として「無料オステオパシーセミナー」を開催しました。結果、受講生には予想以上に好評を博することが出来ました。この後、二度目の東京セミナーを含め、仙台、名古屋、大阪と主要四都市でのセミナーを予定しています。どのような出会いがあり、多くの人に新しい世界であるオステオパシーを伝えることが出来るか今からとても楽しみです。ぜひ、ご興味のある方は、ご応募していただければと思います。ただし、人数の制限もあり、先着順での受付となってしまうことはお許しください。

今回の企画意図は、「臨床の場でもっと高度な治療を提供したいと悩まれている治療家の皆さんに、オステオパシーという新しい世界をお伝えし、その本物の知識や技術を伝え、実際に効果を出していただけるようにしたい」というものでした。臨床の場で患者さんの回復という喜びを共に分かち合う、そのための一助になればという思いから企画はスタートしました。

そのためには、無料とはいえ、提供する知識も技術も本物の世界水準のオステオパシーでなければならぬと我々は考えました。

幸い、我々はフランス政府認定校のディプロマを取得し、仏国家資格オステオパスの認定を受けた16名の卒業生です。世界水準のオステオパシー教育を受け、認定を受けた治療家がこんなに多く所属する団体は、現状日本では我々JOMAだけです。その中でも選りすぐりの講師により、オステオパシーという世界の全体像をお伝えすべく、初学者でも理解しやすいように厳選した情報を元にプログラムが組まれました。その内容は、医師や理学療法士など医療のプロが聞いても納得する、医学的に見ても妥当なものであり、世界のオステオパシー教育の基礎としてオステオパスを名乗るならば、当然知っておかなくてはならないものばかりです。

受講した参加者からは「内容の深さ、濃さに驚いた」「懇切丁寧な指導で、出し惜しみすることなく教えていただいた」「これが無料セミナーであることに驚いた」「有料でも惜しくない内容であった」と大変好評をいただくことができました。

確かに通常、これらの内容を受講しようとするれば10万円を超える受講料が必要となるレベルの内容かもしれません。それにもかかわらず、我々が出し惜しみすることなく、この知識・技術を提供しようとしたのは、何よりも「臨床で困っている治療家にオステオパシーという新しい世界を知っていただく」としたからに他なりません。

その意味で、今回のセミナーはその意図通りの結果をもたらすことが出来ました。

ただ、それでも残念なのは、時間的に制約があり、我々がお知らせしたいオステオパシーの世界のほんの入り口と大まかな全体像しか提示できなかったということです。

もちろん、今回の受講生の皆さんは、今まで聞いたこともないような情報に感動して下さいました。その濃縮され厳選された貴重な講義内容に大変ご満足いただくことが出来ました。

しかし、それでも、我々としては「オステオパシーの世界を伝える」という意味において、決して「充分だった、満足できた」とは考えておりません。

それというのも、今回提示した内容は、SAJのカリキュラム全体から言えば、100万分の1にも満たないものでしかないからです。そして、さらに、オステオパシー全体から言えば、このSAJのカリキュラムすら、オステオパスを名乗るのならば知っておかなければならない、基本的、基礎的な内容に過ぎないからです。

昨年、小児オステオパシーの国際セミナーで講師のニセッタ先生が開講冒頭に「この中でオステオパスの方は何人いますか？ディプロマを取得している人は？」と質問されました。

残念ながら我々以外に手を挙げる人はいませんでした。

今まで日本で国際セミナーが開かれるとき、その内容は実は卒後研修レベルの内容であることが少なくありませんでした。ところが、それを受ける参加者側がその水準に達していないことが多く、正しくその内容を受け止めることが出来ておらず、我流の間違った理解をしている場合が少なくなかったのです。あるいは、講師の側が受講生の水準に合わせて、教授内容を下げて対応していることも少なくありませんでした。

日本において、少しでも早く、きちんとした正統なオステオパシー教育を受けたオステオパスを育てること。その上で卒後研修レベルの情報をどんどん吸収蓄積していき、さらに先の世界を切り開いていくこと。このことが急務なのだと我々は考えています。

お陰様でSAJは三期生がまもなく開校します。二期連続で医師の入学者もありました。フランス本国でも医師がオステオパスになるためには、オステオパシー認定校に通いディプロマを取得する必要があることを考えると、日本において我々SAJが提供するカリキュラムが同様なものであることをこの事実が証明しています。医学的に見ても妥当かつ高度な内容を我々のカリキュラムは提供しているのです。

さらに代替療法の世界で有名な帯津良一先生が初代会長を務められたホリスティック医学協会と提携を組み、アンドリュー・ワイル博士の著作を広められた二代目会長の降矢先生のご協力の元、医師担当による症候学のカリキュラムを拡充することに成功しました。

今後、JOMAにおいてもフランス人医師でオステオパスのバティスト先生(SAJ講師)による国際セミナーやオステオパシーの中で外すことのできないエネルギー領域の世界(卒後研修レベル)についてヨーロッパの第一人者による国際セミナーが計画されています。ここでは、オステオパシーの広大な地平のすべてが我々の視野には入っています。

バルル先生のBOTOとの提携では、ディプロマ取得者向けの高度な教育が予定されております。SAJ

の提携校 ATSA の卒後研修セミナーを含めて、これから日本で予定される世界的に最先端の高度な内容を受講し理解するためには、まずオステオパスと名乗るからには、SAJ のディプロマを取得することが必要要件となることは間違いありません。

では、なぜ SAJ のディプロマなのか？

他の日本の学校のディプロマではいけないのか？

残念ながら現在の日本の他の学校では、フランス政府が認めるカリキュラム内容・時間数ともに基準に足りません。SAJ の水準に達していないのです。基礎から臨床、ディプロマから D.O.まで。すべてを包括的に提供できる学校は、現在日本では、SAJ ただ一校なのです。

SAJ の卒業は時間・労力・費用とけして簡単なことではありません。しかし結局、クリアしてみるとそれが最短のルートであり、最善の選択であることが聡明な方なら理解できると思います。

人生の決断の時は、いくつかありますが、これがその重要な一つであると我々は考えています。

その重大な決断をする前に、もしも不安があるならば、まずはこの無料セミナーから受講してみませんか？そしてオステオパシーの世界の広大で豊潤な地平を覗いてみてはいかがでしょうか？きっと我々が嘘を言っていないことがわかるはずです。